

西脇安信さんのプロフィール（認定者No.5）

（健康演歌の会 主宰）

昭和6年（1931年）亀岡市（内丸町）生まれ。

小学生のころから、家業の建具屋の仕事を見ていたが、ある日京都木屋町の辻で手相をみてもらおうと、「あんたは家におったらあかん。外に出たら出世する！」の一言で、就職を決意。ところが、その直後に、父親が亡くなり、家業を継ぐべきか大いに悩むことに。一晩考え、就職先の社長には、丸坊主になって覚悟のほどを示し、やむなく退職。その後紆余曲折があったが、70歳で引退。若い頃から俳句、囲碁から野球、ボウリング…と、とにかく多趣味。話題に事欠かない、楽しい人です。

そんな西脇さんに、私がはじめてお出会ったのは、たしか10年ほど前。当時“プータロー”の私が、亀岡市の運営する、チャレンジショップの店長をやっていたときの、最初のお客さん。毎日コーヒーを飲みに来ては、いろいろな話をしてくれました。そのとき、口にすることは必ず実行するという彼の、強い信念を持った生き方を大いに学びました。その原動力はいったい何なのか。単なる好奇心のかたまり？、そのチャレンジ精神はハンパではありません。興味を持ったことを次から次へと実行に移す姿勢は、当時の私に欠けていたこと。父親を早くに亡くした私にとっては、まさに人生の師、父親代わりのような存在と、勝手に思っています（笑）。その後も、私の主宰するプロジェクトでも、いろいろとアイデアをくださり支えていただいております。

彼の魅力は何といっても、常に“ファイティングポーズ”を崩さない、「負けず嫌い」なところ。今の趣味はカラオケ。毎晩11時から12時まで、15曲練習することをノルマにしているとか。うまいへたではなく、あくまでも「健康カラオケ」を旨としているとのことですが、主宰する「健康演歌の会」で仲間の、M氏を負かすことが当面の目標らしい（笑）。

ただ、家族に言われて、年内には運転免許証の返納も考え中らしい。行動範囲が極端に狭まるのでは、と個人的に少々心配しておりますが、義理人情に篤い、亀岡の「ご意見番」は健在です！



2017. 4. 13 松尾 清嗣